

## 町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 23 年 12 月 2 日（金） 午後 7 時～午後 8 時 45 分

場 所：神山公民館大会議室

対 象：鹿庭地区

参加人員：27 人

Q：3 年前まで高松に住んでいた。障がい者福祉の地域生活支援事業の上限を決めて欲しい。上限を超えたものは助成をして。さぬき市、三豊、坂出、綾川、宇多津は制度がある。

A：調べて後日お知らせする。

後日、障害福祉サービスと地域生活支援事業の自己負担額を合算して、障害福祉サービスの自己負担額を適用し、助成できるよう検討する旨、回答。

Q：神山保育所に猿が沢山出没し、先生がカンをたたいて追い払っている。何か対策を。

A：困っている。驚かせて追い払うしかない。猟友会も猿の駆除はやりたがらない。ネット等対策を考える必要がある。

Q：百会議で、過疎とか有害鳥獣の話はあったか。人と鳥獣の争い状態であり、地域の協働が必要だ。

A：今年の会議ではなかった。

Q：総合運動公園西グラウンドの西側のフェンスが低く、ボールが外に出て不便である。東グラウンドは屋根のある控え施設がなく、雨の日に着替えたり荷物を置く場に困っている。

A：初めて聞く要望である。検討したい。

後日、緊急性の高いものや重点施策に係るものから工事を優先するので、西グラウンドのフェンスの改修工事予定は当面ない旨、また、施設の管理面や景観面から、東グラウンドの屋根の設置はしないので、野球場管理棟内の更衣室や着替え用テントを使用させていただきよう、回答。

Q：学童保育は高松より進んでおり、6 時までみてくれるのは有難い。障がい児の学童保育はやっていないのか。高松では受け入れてくれる。加配はあるのか。

A：調べて、回答する。

後日、希望があれば相談に応じるので、1 月の放課後児童クラブ会員募集時に申し出をしていただくよう、回答。

Q：中学校にエアコンは有難い。三木中の特別支援学級は普通教室から隔離され、かつ廊下にもカ

ーテンが常に閉ざされた状態である。子どもが嫌がるからとは聞いているが、外と隔離状態というのはいかなるものか。教育環境としては良いとは思えない。

A：話を聞く限りでは良いとは思えない。調べて、回答する。

後日、日常的ではなく、状況に応じてカーテンを閉めており、通常学級との交流も行っている  
ので隔離されてはいない旨、回答。

Q：農業集落排水の着工している区間とは、すでに済んでいるエリアのことか。神山地区はどうなるのか。

A：手をつけている工区は完工したい。ただ、処理場の処理量が 8,800 トンに限られており、現在総量の計算を見直しているため、しばらく待つて欲しい。

Q：鹿庭の農業と TPP の先行きはどうか。

A：国の政策なので、地方自治体ではどうしようもない。個人的には農業を捨ててまでというのは反対である。農業にどのくらい手当てがされるかが問題であると思う。

Q：三条鹿庭線はいつ完成するのか。

A：最終工区を発注したところである。舗装は 24 年度になる。

Q：家の前に使っていない広いため池がある。内側が崩れており、雨が多いときは決壊が心配である。調べたら所有者は三木町であった。町で管理すべきでないか。係は今はない。

A：ため池には国有もあるが国が管理するわけではない。基本は水利で管理してもらうことになっている。利用がなく、防災上危険であるものは埋めることも可能と思う。担当課に調べさせる。

後日、該当するため池の周辺調査を実施。県と協議を進めた上で来年 1 月末までに提案する予定。

Q：病児保育は、高松は 5 箇所あるが、三木にはない。近くでは綾川町しかない。高松と協定を結んでも利用できるようにして欲しい。

A：定住自立圏という取り組みを高松としており、その中でできないか高松市にお願いしてみる。

Q：ファクトリーパークや井戸の農免過ぎたあたりにカラスが群れている。道路に降りたり、糞の害もある。駆除対策はできないか。

A：カラスは有害鳥獣ではないので駆除できない（後日、カラスは有害鳥獣であることが判明）が、放っておいて良い問題ではない。有効な方法を探している。音で追い払うのも一つの方法。

Q：このような懇談会は今後も定期的に続けるのか。

A：年に 1 回くらい持てたら良いと考えている。